

2023年度 メリー★ポピンズ 志木ルーム 事業報告書 (保育所における自己評価)

1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

「生きる力を育む日課の充実」

日々の日課を充実させるために、まずはスタッフ間での日課の意義や取り組み方の目線合わせを行った。スタッフが真に理解をすることで、子どもに対しても一緒に取り組みたくなるような言葉の掛け方や文字通り背中を見せる保育を実践するきっかけ作りを行うことができた。

「子どもも大人も安心できる接遇の定着」

自分がされて嬉しい対応をベースに、日々の保育の中での接遇面を、研修等を通じて見直し、実践につなげていった。子ども、大人分け隔てなく気持ちの良い対応がどういったものかを日常的に話し合い、安心できる環境づくりを目指した。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもの今に合った環境を整え、興味から体験を広げる。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの情報共有を密に行った ・子どもの興味関心に基づいた保育計画の立案実施 ・保育計画に基づいたゾーン保育の展開
	次年度方向性	引き続きゾーン保育についての学びを個々に深め、スタッフ協同で子どもの育ちに合わせた環境整備を行っていく。
2	計画・ねらい	今までの保育のあたりまえを見直し、保育の質を底上げする。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の質を見直すケーススタディ研修 ・見守る保育における適切な言葉かけ研修 ・実際の保育場面を切り取ったエピソード研修 ・定期的なエピソード記録を作成し、掲示
	次年度方向性	様々な保育の場面で出てきた課題や疑問を都度話し合う時間の構築と、継続して見直し、取り組み続ける意識の持続を行う。
3	計画・ねらい	他者との協働の中で想いや考えを共有し、共通の目的に向かい挑戦する。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の選択制保育の実施 ・協同的、継続的な遊びの導入
	次年度方向性	活動を選択する中で、自分がどうしたいのかを明確に表現できる環境を整える。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者の方々のニーズを的確に捉え、子どもたちのおかれている多様な家庭環境に配慮しながら、応答的な関わりを行う。
---	--------	---

	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・園に通う家庭ごとの家族背景や悩み、ニーズの情報共有 ・園からの率先した子育てに関する相談受付 ・日々の連絡帳や送迎対応の中で得られた情報の共有 ・定期的な個別面談の実施
	次年度方向性	お迎え対応や日々の会話の中で保護者のちょっとした悩みに気づけるスタッフの視野の持ち方を広げていく。
2	計画・ねらい	保護者目線で園内環境の美化や安全管理に注力し、いつでも安心して利用できる園運営を継続する。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃と各種清掃基準のチェック ・園内外のハザードマップ整備と公開 ・利用者アンケートのご意見活用
	次年度方向性	実践に対して振り返りや進捗共有を丁寧に行い、持続できる意識づくりを行う。
3	計画・ねらい	子どもの成長を共に分かち合えるように、日々のコミュニケーションの中で様々な伝達手段を使い、深い信頼関係を築く。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・日々連絡帳、タイムライン、写真や動画の掲示、お迎え伝達等にて全体と個別の様子を伝達 ・子ども一人ひとりの成長発達を捉えたポートフォリオやエピソード記録の作成 ・作成した記録物の公開とフィードバック
	次年度方向性	連絡帳やタイムラインの内容の精査を引き続き行い、保護者に子どもの育ちを共有するためのツールを整えていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の子育て支援拠点として、交流行事を実施する。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ちきんえっぐ行事開催 (月1回の定期的な講座の開催、製作体験、親子クッキング等)
	次年度方向性	広報活動について見直し、背局的な集客のための有効な広報の方法を見つけ、実践していく。
2	計画・ねらい	地域の育児相談を積極的に受け入れ、地域に頼られる存在となる。
	実践結果	・ちきんえっぐだよりを通じた育児相談の受付
	次年度方向性	地域の頼られる存在としての知名度を上げられるよう、積極的に広報を行う。
3	計画・ねらい	次世代保育者の育成支援事業を積極的に受け入れる。
	実践結果	・実習生・中高生職場体験・ボランティアの受け入れ
	次年度方向性	実習生や職場体験の学生とのかかわりを通じて、次世代を担う保育者に必要なスキルを把握し、支援していく。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	今求められている保育とは何かを学び合い、実践と振り返りを行う。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍や動画等保育教材を用いた定期的な園内研修 ・実際の保育場面を撮影し、内容を確認して取り組みを振り返る。 ・毎日の昼礼にて実際の保育内容についてディスカッション
	次年度方向性	自主的に目標や課題を見つけ、取り組み続ける職員を育成する。
2	計画・ねらい	保育者一人ひとりが話し合いのファシリテーターとなって役割を担う。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・係分担者による情報発信とファシリテーションの実施 ・能動的な自身の役割分担業務の進捗情報発信
	次年度方向性	それぞれの分担業務を行う中で、協力するところ、自分で取り組むところを一人ひとりが精査して行える集団作りをする。
3	計画・ねらい	自身の成長に加え、園と子どもの為に何をするのか目標を立てる。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が自らのキャリアプランについての目標設定を明確化する。 ・園の保育の質上げと子どもの最善の利益の為に目標を立てる。
	次年度方向性	働き甲斐を感じられる職場づくりと、同じ方向を向いて保育や業務を行える意識づくりを行う。
4	計画・ねらい	過去の自分を比較対象とし、保育に関わる教養を深めていく。またスキルアップの意識を持ち、様々な研修や他園連携へ積極的に参加する。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の教養を深める本の共有と読書の推進 ・積極的な研修参加と全体への共有実施 ・どろんこ会等、系列他園への積極的な交換保育研修の実施
	次年度方向性	次年度も視野を広げるために、他園との交流を積極的に行い、一人ひとりのスキルアップを目指す。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	積極的なSDGsへの取り組み
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・残渣を減らすための取り組みや食育計画の実施 ・エネルギー教育や省エネにまつわる取り組みの実施
	次年度方向性	スタッフ一人ひとりが食糧残渣を把握し、食べる意欲を育める取り組みを実践する。
2	計画・ねらい	安全で清潔な園づくり
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の清掃水準の可視化と清掃チェック ・ハザードマップの定期的な更新と運用
	次年度方向性	安全な園、清潔な園の明確な基準を見出し、定期的に園内外を点検する。

〈6〉日課の意図理解と充実（施設長が力を入れて取り組むと決めた事柄）

1	計画・ねらい	怪我をしない強い体を育てる。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・裸足保育、座禅、雑巾がけ、さくらさくらんぼリズム、長距離散歩 ・日課自体の見直しと研修参加

	次年度方向性	積極的な研修参加、日課の意義の理解を深め、日課の内容をより良いものにする。
2	計画・ねらい	自分でできることを自分でする。
	実践結果	・畑仕事、自給自足、園側給食、給食バイキング
	次年度方向性	引き続き自分でできることを少しでも多く経験できるよう、職員が介入しすぎない保育を行う。
3	計画・ねらい	全ての人とのかかわりから判断・行動を身につける。
	実践結果	・異年齢保育、インクルーシブ保育、銭湯、商店街ツアー、青空保育
	次年度方向性	乳児、幼児の境目をなくし、混ざり合って生活できる環境や生活の基盤づくりを行う。
4	計画・ねらい	活動を選択し、自分で考えて行動する。
	実践結果	・火、水、土等自然物を活用した遊び、ゾーン保育、活動の話し合い
	次年度方向性	ゾーンの再構築を継続して行い、その時の子どもに必要な活動を常に追求していく。
5	計画・ねらい	生死を知ることで、命の大切さを学ぶ。
	実践結果	・生き物の世話、食材と食の循環を知る活動、性教育
	次年度方向性	ただ生き物の生死に触れるだけでなく、生死を通じて食の循環や生きるために必要な事柄について学べる活動を行う。
6	計画・ねらい	感じたことや、考えたことを表現する。
	実践結果	・子どもの同士の話し合い、発表、制作、読み書き計算、体操、音楽
	次年度方向性	子どもが自分で決めたことを話し、表現できる指導案作成や準備を行う。

〈7〉子どもの姿を捉えた計画と記録公開（施設長が力を入れて取り組むと決めた事柄）

1	計画・ねらい	今の子どもたちの姿を適切に捉え、子どもがしたいことや興味に基づいた計画づくりを行う。
	実践結果	・毎日の昼礼にて子どもたちの今の姿の情報共有 ・毎週週案会議を行い、保育計画のすり合わせを実施
	次年度方向性	スタッフが行う会議の内容を精査し、時間を有効に使いながら子どもの今についてを考えられる会議にしていく。
2	計画・ねらい	子どもの記録を保護者の方々に公開し、保育の中で繰り広げられている子どもの挑戦と葛藤、保育者の感じたこと等を共有する。
	実践結果	・子ども毎のポートフォリオ、エピソード記録の作成 ・作成した記録物の掲示、ファイリング、保護者の方々への閲覧
	次年度方向性	保護者への子どもの育ちの共有方法について、一人ひとりが有効な方法を模索し、表現できるスタッフを目指す。

2. 施設運営

※3月は見込みの数値を入れること

〈1〉 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月	18人	35人	36人	32人	36人	36人	193人
年度後半： 10~3月	人	人	人	人	人	人	人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	132 人	140 人	162 人	132 人	122 人	97人	148 人	130 人	111 人	90人	90人	90人	1444 人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	5人

一時保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち0 歳児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉 スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	6人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	4人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人						

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・園内研修含むディスカッション ・保育に関わる情報共有
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の様子についての振り返り ・丁寧な給食のための取り組みについてディスカッション ・食育計画の進捗確認、振り返り
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の危険箇所チェックと共有 ・自園含む法人内の事故記録簿の共有 ・ヒヤリハット、インシデントの分析
ケース会議	月1回	・要支援児個別計画の振り返り及び省察、計画の見直し
担任会議	月1回	・乳児、幼児それぞれの情報共有、計画のすり合わせ

〈2〉出席した施設外会議（Web参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	年11回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉 係の設置状況

係名	活動の様子・省察
衛生管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の汚染区域の衛生管理 ・清掃備品や衛生備品等の管理 ・検便容器配布、回収管理
安全対策係	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練計画立案、実施、振り返り ・安全な物的環境整備、ハザードマップ管理 ・ヒヤリハット、インシデントの管理、活用
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練計画立案実施 ・園内設備の防火管理
食品衛生管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・食品品質衛生管理 ・食育会議の立案、参加 ・食育行事の実施
畑・生き物係	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗備品の管理確認、発注 ・年間農業計画立案、畑管理 ・生物飼育全般管理
休憩・懇親係	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間の設定、調整 ・休憩時のお茶菓子の購入、設置 ・定期的な懇親会等の計画、調整
お便り、写真係	<ul style="list-style-type: none"> ・どろんこ便り、ちきんえっぐ便りの作成 ・保育の様子を撮影した写真の管理

〈4〉 行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
地域担当係	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援活動の一環として、ちきんえっぐ、青空保育（中道公園）を実施。徐々に参加人数も増加してきた。
世代間交流係	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の高齢者福祉施設、他保育園、小中学校等との連携を実施。新型コロナウイルス感染症の五類移行により、昨年度よりも交流の機会を多く持つことができた。
大型行事係	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、どろんこ祭り、生活発表会、卒園式の計画を立案実施した。

4. 保育支援

〈1〉 保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したアタッチメントを行うことで、基本的信頼関係を築く。 ・保育者が安全基地となり、子ども達が安心して他者への関わりを行えるようにする。 ・多種多様な自然や生き物、地域の人々との関わりを体験する。 ・子どもの体調変化に細やかに目を配り、十分にケアする。
保育参加	4～3月まで 合計6名 が参加済み (3月1日時点)
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計2名 が参加済み (3月1日時点)
運営委員会	運営委員会を6月28日、11月29日にメリー★ポピンズ志木ルームにて実施し、参加した保護者4名 詳細は議事録に記載

〈2〉 計画した年間行事の振返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	子どもも大人も混ざり合って食べ、自分が食べる量や時間、場所を自己決定し、食べる意欲を育てる
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・給食バイキングの実施 ・子ども自身が食べる場所や時間を選択できる環境づくりの実施
	次年度方向性	好きな人と好きな場所で食べる喜び、食べる意欲を育めるしよくじかんk用の整備を行っていく。
2	計画・ねらい	食事の時間を好きになれるよう、明るく楽しい雰囲気をつくる
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分自身で食べようとする姿を丁寧に見守る。 ・子どもの苦手な食べ物を把握し、どの様に食べたい気持ちを育てていくか討議。 ・食事が行儀を教え込む場面だけにならないように配慮する。
	次年度方向性	苦手な食べ物に対して、引き続き強制せずに食べたくなる意欲を育む取り組みを考え、実践していく。
3	計画・ねらい	食育体験や畑仕事、プランター栽培を通じて、素材の味、色、形、匂い、変化に気付く

実践結果	・畑仕事を通じて種植えから収穫のサイクルや、調理体験の実施 ・気付いた変化を子ども同士の言葉で表現する。
次年度方向性	食の循環を感じられる取り組みを持続して行い、子ども自身の気づきを大切にできる環境を整えていく。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	6月23日／11月16日に実施
歯科検診	6月8日にメリー★ポピンズ 志木ルーム園内にて実施
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回（全スタッフ対象）
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	① 5月に園内にて手洗い指導を実施 ② 12月7日、8日に園内にて5歳児対象「性教育」を実施
流行した感染症	① 9月にインフルエンザA型、園児15名・スタッフ3名蔓延し、朝霞保健所へ報告、9月26日終息
発作・痙攣等の対応	該当なし
エピペン使用できるスタッフの状況	本日時点で、在籍スタッフ11名のうち、10名が使用可能
AED使用できるスタッフの状況（AED設置施設のみ）	AED未設置であるが、近隣施設から借り受けて、5月に在籍スタッフ11名のうち10名が使用法を確認し使用可能
その他保健に関する取組	ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み

	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 0日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 0日
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月 ⇒4月1日、10月3日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月23日、11月16日 歯科健診 各年1回／6月8日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月27日、10月26日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	子どもが主体的に遊びを選択できる環境の設定
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活、保育の見直し ・散歩先や遊ぶ内容等、活動における選択肢の多様化 ・子ども自身が選択できる室内遊びのゾーン整備
	次年度方向性	今年度見直した環境や保育の在り方を基盤に、子どもたちの主体性の理解と実践から見える姿を深掘りしていく。
2	計画・ねらい	自然物や生物と日常的に関われる環境の設定。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の花、虫や魚の飼育や観察 ・移動保育での世話活動
	次年度方向性	保育者が主体となって生き物を身近に感じられる環境を整備する。また、移動保育だけの活動にならない継続的な生き物の世話を行っていく。
3	計画・ねらい	安全維持の為の衛生管理と安全対策周知の徹底。
	実践結果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育運営マニュアルの周知徹底 ・ヒヤリハット、インシデント、ハザードマップの活用
	次年度方向性	・命に関わるマニュアルの周知徹底を引き続き実施し、子どもの安全を守れるようにしていく。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	給食室収納棚	給食室	月1回	異常なし
2	トイレ収納棚	だれでもトイレ	月1回	6月9日に解体・撤去

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	避難消火訓練	・毎月火災、地震、水害、通報等の訓練を実施
2	消防署員立会訓練（年1回）	・消防署員立ち会いの元、訓練について助言を頂く
3	消防設備点検（年2回）	・園内外の消防設備について定期的な点検の実施
4	マニュアルNo.3 危機管理マニュアル設置	・本部の定める危機管理マニュアルの徹底
5	園庭遊具・施設設備安全点検実施（年6回）	・本部の定める遊具や設備点検マニュアルの実施
6	事故防止自主点検実施（年4回）	・本部の定める事故防止点検マニュアルの実施
7	救命救急講習会（年1回）	・年に一度、地域の消防署にて実施される救命救急講習への参加
8	ヒヤリハット報告書・インシデント報告書・事故記録簿の作成（随時）	・怪我には至らなかったが、一歩間違えれば怪我につながるような事例をヒヤリハット報告書へ記入し、共有 ・通院までには至らなかったが、怪我に至ってしまった事例をインシデント報告書へ記入し、再発防止策を共有 ・通院を伴う怪我の事例を事故記録簿へ記入し、再発防止策を共有
9	午睡時「生存確認表」記録	・園専用アプリの「うちのこアプリ」を利用し、午睡時保育者による5分おきのプレスチェックの実施、体位生存確認情報の入力
10	不審者侵入訓練（年2回）	・年に2回、不審者が園内に侵入することを想定した訓練の実施
11	ケガ事故発生時対応フローチャート設置	・本部危機管理マニュアルに基づき、怪我発生時の対応についてはフローチャートに従った手順で実施
12	投薬ルールの実用	・薬の受付から投薬、返却に至るまでを保育運営マニュアルに基づいて実施
13	光化学スモッグ発令時の掲示、発令内容に準じ	・自治体からの発令をメールや電話で受け次第、必要に応じて戸外活動の制限を実施

	た活動	
--	-----	--

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振返り

昨年度と同様に多くの学校から依頼を受けて実習生を受け入れた。学生との関わりを通じて、保育者も自身の保育を振り返り、指導する立場としての学びを得ている様子であった。

〈2〉実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
6月5～16日	総合学園ヒューマンアカデミー チャイルドケアカレッジ 子ども保育専攻	1人	部分実習
7月31日～8月 日14日	国際学院埼玉短期大学 幼児保育学科	1人	責任実習
2月1日～15日	彰栄保育福祉専門学校	1人	部分実習
3月1日～14日	総合学園ヒューマンアカデミー チャイルドケアカレッジ 子ども保育専攻	1人	責任実習

〈3〉中高生の受入

受け入れなし

7. スタッフ研修

※3月は見込みの数値を入れること

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	26日 11名	25日 11名	29日 11名	27日 11名	24日 11名	28日 11名	26日 11名	16日 11名	19日 11名	25日 11名	22日 11名	21日 11名
園内研修	26日 11名	25日 11名	29日 11名	27日 11名	24日 11名	28日 11名	26日 11名	16日 11名	19日 11名	25日 11名	16日 11名	21日 11名
虐待防止研修 講師：施設長	4月26日、10月に園内にて11名のスタッフが出席											

〈2〉外部研修への出席

日程	主催	研修名	出席	施設長推薦
11月28日、 12月11日	株式会社ポピンズ プロフェッショナル	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修（マネジメント）	1名	無
12月22～23日	社会福祉法人どろんこ会	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修（マネジメント）	1名	無
1月12～13日	社会福祉法人どろんこ会	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修（乳児保育）	1名	無
1月13～14日	社会福祉法人どろんこ会	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修（保健衛生・安全対策）	1名	無
1月17日、 1月18日	株式会社ポピンズ プロフェッショナル	埼玉県保育士等キャリアアップ 研修（幼児教育）	1名	無

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 （子育ての質を上 げる会議）	19日 1名	18日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
施設長勉強会	19日 1名	18日 1名	21日 1名	19日 1名	23日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	20日 1名	17日 1名	21日 1名	21日 1名
全社員研修	9月に動画視聴にて研修を実施（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	参加者なし											
デモンマークインターンシップ	参加者なし											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

地域に開かれた保育園として、近隣の保育園、小学校、高齢者施設との交流を行ってきた。昨年度よりも新型コロナウイルス感染症の影響が少なかったこともあり、特に自然食堂など食事を共にする活動の参加者が増加した。一方で広報活動が十分にできなかった月は参加者が著しく低下する傾向もあり、地域に愛される園として広報活動の工夫と向上を目指す必要がある。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：中道公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：カスミ、山田園芸店、ブルームーン、アリスブンカ、オリジン弁当、サンクス三上、志木駅、スパイスハウス、志木郵便局、長崎亭、敷島神社、マルイ、ギャラリースペース等
世代間交流	毎月1回、カインドケア志木にてシニア世代との交流を実施
異年齢交流	6月26日、11月30日に志木小学校にて1年生の授業見学を実施
その他活動	8月5日に保育園にてどろんこ祭りを開催
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉 実施

9. 小学校との子ども間交流・職員間交流

〈1〉今年度の振り返り

今年度から近隣の小学校との交流が再開し、以前より多くの頻度で小学生との交流や学校施設の見学を行うことができた。毎週の志木小学校での畑仕事も継続的に行えたことで、小学校の生活に触れたり、小学生と挨拶を交わす機会が増えたりと、日常的に交流を図ることができた。職員間の交流があまり持てなかったため、次年度は積極的に行っていきたい。

〈2〉具体的な連携

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
毎週2回	志木小学校	18名	屋上園庭での畑活動	子ども間交流
6月26日	志木小学校 1年1組	6名	授業参観	子ども間交流

9月21日	志木市内小学校	1名	各小学校のスタートカリキュラム共有（志木市総合福祉センター）	職員間交流
11月30日	志木小学校 1年1組	6名	授業参観 校内見学	子ども間交流
2月26日	志木小学校	1名	保育指導要録・口頭による 児童の引き継ぎ	職員間交流
3月8日	志木第三小学校	18名	むかし遊び交流	子ども間交流

10. 要支援児

〈1〉個別支援計画の作成・見直しの状況

個別支援計画を作成し、ケース会議を行いながら該当児童に必要な支援について計画、見直しを実施した。

〈2〉毎月のケース会議開催の状況

・4～9月に計6回開催 参加者：4名

該当月は毎月会議を開催し、担任を中心に職員間で子どもの様子を共有した。

〈3〉進級引継、および小学校への引継状況

進級に於いての引き継ぎは子どもの姿の共有会議において実施した。また、小学校への引き継ぎは口頭での引き継ぎと保育指導要録の提出を実施した。

11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	0名	8名	5名	0名	7名	4名	0名	4名	0名	0名	0名	28名

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 にて実施
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 ⇒計0件相談実施済み
自然食堂 親子ランチ	隔週(水) 10:00～12:00 ⇒計6回実施済み 参加者延べ人数

交流	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		0名	0名	8名	0名	0名	5名	4名	0名	2名	0名	0名	0名
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎月1回 10:00～12:00 ⇒計2回実施済み 参加者延べ人数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	5名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	7名
勝手籠設置	(月)～(土)7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置												
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行												
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：中道公園にて 以下日程にて実施												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	2名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

〈2〉園による自己評価の実施

2023年7月12日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：9時00分

自己評価終了時刻：16時00分

自己評価実施者：施設長、主任、栄養士

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

(省察) 実際に利用される保護者の方の意見を聞くことができ、利用しながらどのようなことに注目されているのか、傾向を把握することができた。すぐに改善できるものはすぐに取り組み、長期的に取り組んでいかなければならないことは、次年度も継続して取り組むことで、園全体の環境や質の向上に活かしていきたい。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉 報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 志木ルーム 施設長 添島 美紗子